第４期がん対策推進基本計画（国）における中間評価に係るコア指標【全国と三重県の比較】

資料１－５

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
1	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）男女計	67.4 （2022年）	62.3 （2022年）	65.7 （2023年）	61.1 （2023年）	人口動態統計	昭和60年モデル人口 ※県計画は平成27年モデル
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）男性	81.1 （2022年）	77.0 （2022年）	79.1 （2023年）	74.8 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）女性	54.9 （2022年）	49.4 （2022年）	53.3 （2023年）	49.0 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）男女計	108.6 （2022年）	103.0 （2022年）	106.2 （2023年）	100.3 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）男性	142.5 （2022年）	137.5 （2022年）	139.4 （2023年）	132.8 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）女性	82.5 （2022年）	76.4 （2022年）	80.5 （2023年）	75.4 （2023年）		
2	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）胃	6.2 （2022年）	6.2 （2022年）	5.8 （2023年）	6.5 （2023年）	人口動態統計	昭和60年モデル人口 ※県計画は平成27年モデル
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）大腸	9.7 （2022年）	10.2 （2022年）	9.7 （2023年）	8.5 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）肝	3.5 （2022年）	2.9 （2022年）	3.3 （2023年）	2.9 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）肺	11.9 （2022年）	10.8 （2022年）	11.5 （2023年）	10.5 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）女性乳房	10.4 （2022年）	7.9 （2022年）	10.0 （2023年）	7.5 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（75歳未満）子宮頸	2.6 （2022年）	－	2.5 （2023年）	－		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）胃	10.8 （2022年）	10.4 （2022年）	10.1 （2023年）	11.4 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）大腸	15.0 （2022年）	15.7 （2022年）	14.9 （2023年）	13.9 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）肝	6.2 （2022年）	5.5 （2022年）	5.9 （2023年）	5.4 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）肺	20.7 （2022年）	20.0 （2022年）	20.2 （2023年）	18.8 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）女性乳房	12.1 （2022年）	9.5 （2022年）	11.7 （2023年）	8.8 （2023年）		
	がんの年齢調整死亡率（全年齢）子宮頸	2.8 （2022年）	－	2.7 （2023年）	－		

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
3	難治性がん（代表例：膵がん）の年齢調整死亡率（75歳未満）	7.0 （2022年）	7.1 （2022年）	7.0 （2023年）	7.1 （2023年）	人口動態統計	昭和60年モデル人口 ※県計画は平成27年モデル
	難治性がん（代表例：膵がん）の年齢調整死亡率（全年齢）	11.3 （2022年）	11.1 （2022年）	11.4 （2023年）	11.4 （2023年）		
4	がんの年齢調整罹患率　男女計	387.4 （2019年）	362.1 （2019年）	379.0 （2021年）	360.0 （2021年）	全国がん登録	昭和60年モデル人口 ※県計画は平成27年モデル
	がんの年齢調整罹患率　男性	445.7 （2019年）	417.3 （2019年）	429.9 （2021年）	412.1 （2021年）		
	がんの年齢調整罹患率　女性	346.7 （2019年）	323.4 （2019年）	344.7 （2021年）	323.8 （2021年）		
5	がん種別年齢調整罹患率（胃）	41.6 （2019年）	37.0 （2019年）	36.7 （2021年）	33.3 （2021年）	全国がん登録	昭和60年モデル人口 ※県計画は平成27年モデル
	がん種別年齢調整罹患率（大腸）	58.2 （2019年）	53.8 （2019年）	57.1 （2021年）	54.1 （2021年）		
	がん種別年齢調整罹患率（肝）	12.0 （2019年）	10.3 （2019年）	10.9 （2021年）	9.4 （2021年）		
	がん種別年齢調整罹患率（肺）	42.4 （2019年）	41.8 （2019年）	40.8 （2021年）	41.5 （2021年）		
	がん種別年齢調整罹患率（女性乳房）	100.5 （2019年）	86.4 （2019年）	102.3 （2021年）	91.5 （2021年）		
	がん種別年齢調整罹患率（子宮頸）	13.9 （2019年）	14.9 （2019年）	13.6 （2021年）	13.3 （2021年）		
6	がん種別５年生存率（胃）	64.0 （2016年診断）	57.8 （2016年診断）	64.4 （2018年診断）	58.3 （2018年診断）	全国がん登録／院内がん登録	
	がん種別５年生存率（大腸）	67.8 （2016年診断）	68.4 （2016年診断）	68.0 （2018年診断）	66.0 （2018年診断）		
	がん種別５年生存率（肝）	33.4 （2016年診断）	34.1 （2016年診断）	34.4 （2018年診断）	31.7 （2018年診断）		
	がん種別５年生存率（肺）	37.7 （2016年診断）	38.1 （2016年診断）	39.6 （2018年診断）	43.0 （2018年診断）		
	がん種別５年生存率（女性乳房）	88.0 （2016年診断）	87.9 （2016年診断）	88.4 （2018年診断）	89.7 （2018年診断）		
	がん種別５年生存率（子宮頸部）	71.8 （2016年診断）	71.9 （2016年診断）	71.4 （2018年診断）	69.6 （2018年診断）		
7	希少がんの５年生存率	別途とりまとめ	―	別途とりまとめ	―	全国がん登録／院内がん登録	
8	難治性がん（代表例：膵がん）の５年生存率	11.8 （2016年診断）	13.4 （2016年診断）	13.5 （2018年診断）	14.4 （2018年診断）	全国がん登録／院内がん登録	
9	小児がん患者の５年生存率	82.4 （2016年診断）	－	85.0 （2018年診断）	－	全国がん登録／院内がん登録	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
10	現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	70.5% （H30年度）	60.9% （H30年度）	79.0% （R5年度）	87.3% （R5年度）	患者体験調査	
11	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	69.2% （H30年度）	－	75.5% （R5年度）	－	患者体験調査	
12	現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合	66.8% （H30年度）	－	75.7% （R5年度）	－	患者体験調査	
13	検診がん種別進行がん罹患率（胃）	16.5 （2019年）	15.7 （2019年）	13.1 （2023年）	13.2 （2023年）	全国がん登録	昭和60年モデル人口
	検診がん種別進行がん罹患率（大腸）	30.1 （2019年）	27.6 （2019年）	29.3 （2023年）	28.7 （2023年）		
	検診がん種別進行がん罹患率（肺）	27.0 （2019年）	24.5 （2019年）	24.7 （2023年）	24.8 （2023年）		
	検診がん種別進行がん罹患率（乳）	40.0 （2019年）	30.0 （2019年）	40.2 （2023年）	38.7 （2023年）		
	検診がん種別進行がん罹患率（子宮頸）	7.1 （2019年）	6.6 （2019年）	7.2 （2023年）	6.6 （2023年）		
14	BMI18.5以上25未満（65歳以上はBMI20を超え25未満）の者の割合	62.2% （令和６年）	－	－	－	国民健康・栄養調査	
15	食塩摂取量の平均値	9.6g （令和６年）	－	－	－	国民健康・栄養調査	県計画は県民健康・栄養調査
16	1日の歩数の平均値	7,231歩 （令和６年）	－	－	－	国民健康・栄養調査	
17	1日当たりの純アルコール摂取量が男性40ｇ以上の割合	13.9% （令和６年）	－	－	－	国民健康・栄養調査	
	1日当たりの純アルコール摂取量が女性20ｇ以上の者の割合	9.3% （令和６年）	－	－	－		
18	20歳以上の者の喫煙率	14.8% （令和６年）	－	－	－	国民健康・栄養調査	県計画は国民生活基礎調査
19	HPVワクチン定期予防接種実施率	37.4% （令和３年度）	－	42.1% （令和４年度）	－	地域保健・健康増進事業報告	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
20	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）（胃）	82.3% （令和３年度）	69.0% （令和３年度）	84.2% （令和５年度）	75.9% （令和５年度）	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）（大腸）	83.7% （令和３年度）	75.9% （令和３年度）	86.3% （令和５年度）	79.3% （令和５年度）		
	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）（肺）	80.1% （令和３年度）	82.8% （令和３年度）	81.8% （令和５年度）	86.2% （令和５年度）		
	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）（乳）	83.2% （令和３年度）	75.9% （令和３年度）	86.4% （令和５年度）	86.2% （令和５年度）		
	受診勧奨実施市町村数（特別区を含む、以下同じ）（子宮頸）	83.6% （令和３年度）	82.8% （令和３年度）	85.9% （令和５年度）	89.7% （令和５年度）		
21	検診受診率（胃）	48.4% （令和４年度）	47.1% （令和４年度）	―	―	国民生活基礎調査	
	検診受診率（大腸）	45.9% （令和４年度）	45.7% （令和４年度）	―	―		
	検診受診率（肺）	49.7% （令和４年度）	48.7% （令和４年度）	―	―		
	検診受診率（乳）	47.4% （令和４年度）	51.2% （令和４年度）	―	―		
	検診受診率（子宮頸）	43.6% （令和４年度）	47.0% （令和４年度）	―	―		
22	精密検査受診率（胃X線）	79.7% （令和２年度）	70.6% （令和２年度）	79.2% （令和４年度）	68.8% （令和４年度）	地域保健・健康増進事業報告	
	精密検査受診率（胃内視鏡）	92.6% （令和２年度）	94.3% （令和２年度）	93.7% （令和４年度）	92.9% （令和４年度）		
	精密検査受診率（大腸）	70.2% （令和２年度）	62.3% （令和２年度）	70.4% （令和４年度）	65.7% （令和４年度）		
	精密検査受診率（肺）	82.6% （令和２年度）	84.6% （令和２年度）	82.3% （令和４年度）	82.2% （令和４年度）		
	精密検査受診率（乳）	89.8% （令和２年度）	75.0% （令和２年度）	89.5% （令和４年度）	56.0% （令和４年度）		
	精密検査受診率（子宮頸）	76.6% （令和２年度）	77.8% （令和２年度）	77.9% （令和４年度）	79.6% （令和４年度）		

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
23	指針の遵守市町村数　胃（検診項目）	64.6% （令和３年度）	86.2% （令和３年度）	63.6% （令和５年度）	93.1% （令和５年度）	市区町村におけるがん検診の実施状況調査	
	指針の遵守市町村数　大腸（検診項目）	92.9% （令和３年度）	100.0% （令和３年度）	94.0% （令和５年度）	100.0% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　肺（検診項目）	73.1% （令和３年度）	96.6% （令和３年度）	73.8% （令和５年度）	100.0% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　乳（検診項目）	44.6% （令和３年度）	3.4% （令和３年度）	47.0% （令和５年度）	3.4% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　子宮頸（検診項目）	74.4% （令和３年度）	69.0% （令和３年度）	73.0% （令和５年度）	65.5% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　胃（対象年齢）	6.2% （令和３年度）	0.0% （令和３年度）	7.3% （令和５年度）	0.0% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　大腸（対象年齢）	78.1% （令和３年度）	75.9% （令和３年度）	78.0% （令和５年度）	72.4% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　肺（対象年齢）	61.5% （令和３年度）	48.3% （令和３年度）	64.1% （令和５年度）	48.3% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　乳（対象年齢）	84.2% （令和３年度）	82.8% （令和３年度）	85.6% （令和５年度）	82.8% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　子宮頸（対象年齢）	97.0% （令和３年度）	100.0% （令和３年度）	96.1% （令和５年度）	100.0% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　胃（検診間隔）	5.2% （令和３年度）	0.0% （令和３年度）	6.1% （令和５年度）	0.0% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　大腸（検診間隔）	99.9% （令和３年度）	96.6% （令和３年度）	99.8% （令和５年度）	96.6% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　肺（検診間隔）	97.3% （令和３年度）	93.1% （令和３年度）	96.2% （令和５年度）	96.6% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　乳（検診間隔）	42.7% （令和３年度）	20.7% （令和３年度）	46.7% （令和５年度）	20.7% （令和５年度）		
	指針の遵守市町村数　子宮頸（検診間隔）	37.1% （令和３年度）	20.7% （令和３年度）	39.3% （令和５年度）	20.7% （令和５年度）		
24	がんの診断・治療全体の総合評価（平均点または評価が高い割合）	7.9 （平成30年度）	7.6 （平成30年度）	8.2 （令和５年度）	8.0 （令和５年度）	患者体験調査	
25	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	75.0% （平成30年度）	65.9% （平成30年度）	88.5% （令和５年度）	85.5% （令和５年度）	患者体験調査、小児患者体験調査	
26	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	34.7% （平成30年度）	－	34.0% （令和５年度）	35.0% （令和５年度）	患者体験調査	
27	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	24.0% （平成30年度）	－	26.2% （令和５年度）	27.3% （令和５年度）	患者体験調査	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
28	療養生活の最終段階において、身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	46.9% （令和元～２年度）	46.7% （令和元～２年度）	50.7% （令和５年度）	－	遺族調査	
29	療養生活の最終段階において、精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	42.1% （令和元～２年度）	43.1% （令和元～２年度）	43.2% （令和５年度）	－	遺族調査	
30	役割分担に関する議論が行われている都道府県の数	35 （R3.4.1～R4.3.31）	1 （R3.4.1～R4.3.31）	41 （R5.4.1～R6.3.31）	1 （R5.4.1～R6.3.31）	現況報告書	
31	がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9% （平成30年度）	33.7% （平成30年度）	31.7% （令和5年度）	24.1% （令和5年度）	患者体験調査	
32	都道府県協議会に小児がん拠点病院等が参加している都道府県の数	32 （R4.4.1～R5.3.31）	1 （R4.4.1～R5.3.31）	35 （R5.4.1～R6.3.31）	1 （R5.4.1～R6.3.31）	現況報告書	
33	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている拠点病院等の割合（がん診療連携拠点病院：専従の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている割合、地域がん診療病院：専任の病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている割合をそれぞれ評価）	がん診療連携拠点病院 96.3% 地域がん診療病院 55.3% （R4.9.1時点）	がん診療連携拠点病院 100.0% 地域がん診療病院 － （R4.9.1時点）	がん診療連携拠点病院 100.0% 地域がん診療病院 52.5% （R6.9.1時点）	がん診療連携拠点病院 100.0% 地域がん診療病院 － （R6.9.1時点）	現況報告書	
34	担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	78.7% （平成30年度）	67.7% （平成30年度）	89.8% （令和5年度）	85.1% （令和5年度）	患者体験調査	
35	がんゲノム医療中核拠点病院等の数	がんゲノム医療中核拠点病院 13 がんゲノム医療拠点病院 32 がんゲノム医療連携病院 202 （R5.9.1時点）	がんゲノム医療中核拠点病院 0 がんゲノム医療拠点病院 1 がんゲノム医療連携病院 1 （R5.9.1時点）	がんゲノム医療中核拠点病院 13 がんゲノム医療拠点病院 32 がんゲノム医療連携病院 226 （R6.9.1時点）	がんゲノム医療中核拠点病院 0 がんゲノム医療拠点病院 1 がんゲノム医療連携病院 1 （R6.9.1時点）	現況報告書（がんゲノム）	
36	がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	19,138 （R4.1.1～R4.12.31）	369 （R4.1.1～R4.12.31）	25,072 （R6.1.1～R6.12.31）	420 （R6.1.1～R6.12.31）	C－CATからのデータ提供	
37	がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルで推奨された薬剤が投与された割合	8.2% （R4.1.1～R4.12.31）	10.8% （R4.1.1～R4.12.31）	7.8% （R5.1.1～R5.12.31）	9.4% （R5.1.1～R5.12.31）	C－CATからのデータ提供	
38	ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っていると回答した割合	17.0% （平成30年度）	12.5% （平成30年度）	12.4% （令和5年度）	9.9% （令和5年度）	患者体験調査	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
39	我が国に多いがんの術後短期死亡率	大腸 0.41% 肺 0.32% 胃 0.37% 乳 0.02% 前立腺 0.04% 肝 0.58% 胆のう・胆管 0.89% 膵 0.42% （令和3年）	大腸 0% 肺 0.30% 胃 0% 乳 0% 前立腺 0% 肝 0% 胆のう・胆管 0% 膵 0% （令和3年）	大腸 0.48% 肺 0.27% 胃 0.48% 乳 0.01% 前立腺 0.03% 肝 0.46% 胆のう・胆管 0.91% 膵 0.30% （令和4年）	大腸 1% 肺 0.32% 胃 2% 乳 0% 前立腺 0% 肝 0% 胆のう・胆管 0% 膵 0% （令和4年）	院内がん登録+DPC	
40	IMRTを提供しているがん診療連携拠点病院の割合	72.6% （R4.9.1時点）	100.0% （R4.9.1時点）	78.5% （R6.9.1時点）	100.0% （R6.9.1時点）	現況報告書	
41	化学療法/薬物療法関連QI（拠点病院等（QI研究参加施設）における標準的治療の実施割合）	大腸 53.1% 胃 67.0% 肺 40.0% （令和3年）	大腸 56.4% 胃 62.3% 肺 40.0% （令和3年）	大腸 52.1% 胃 66.8% 肺 41.4% （令和4年）	大腸 53.0% 胃 63.4% 肺 26.5% （令和4年）	院内がん登録+DPC	
42	緩和ケア診療加算の算定回数	算定回数 664,638 患者数 57,076 （令和2年度）	算定回数 1,187 患者数 256 （令和2年度）	算定回数 701,835 患者数 63,026 （令和4年度）	算定回数 1,373 患者数 296 （令和4年度）	NDB	
43	栄養サポートチーム加算の算定回数	算定回数 210,551 患者数 70,332 （令和2年度）	算定回数 2,097 患者数 696 （令和2年度）	算定回数 194,029 患者数 68,498 （令和4年度）	算定回数 2,651 患者数 814 （令和4年度）	NDB	
44	主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	48.8% （平成30年度）	36.6% （平成30年度）	58.4% （令和5年度）	46.7% （令和5年度）	患者体験調査	
45	がんリハビリテーション研修プログラムを終了している医療従事者の人数	54,368人 （令和4年度）	740人 （令和4年度）	63,995人 （令和6年度）	884人 （令和6年度）	ライフプランニングセンターからのデータ提供	
46	拠点病院等（QI研究参加施設）に通院・入院中のがん患者でリハビリテーションを受けた患者の割合	42.4% （令和3年）	31.3% （令和3年）	43.5% （令和4年）	31.2% （令和4年）	院内がん登録+DPC	
47	がん相談支援センターにおけるアピアランスに関する相談件数	14,610 （R3.1.1～R3.12.31）	35 （R3.1.1～R3.12.31）	23,891 （R5.1.1～R5.12.31）	33 （R5.1.1～R5.12.31）	現況報告書	拠点病院のみ
48	治療による副作用の見通しを持てた患者の割合	61.9% （平成30年度）	54.8% （平成30年度）	75.5% （令和5年度）	69.5% （令和5年度）	患者体験調査	
49	身体的なつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談ができると思う患者の割合	46.5% （平成30年度）	37.6% （平成30年度）	65.1% （令和5年度）	59.6% （令和5年度）	患者体験調査	
50	拠点病院等（QI研究参加施設）において支持療法に関する標準診療を実施された患者の割合	91.5% （令和3年）	89.4% （令和3年）	92.3% （令和4年）	90.7% （令和4年）	院内がん登録+DPC	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
51	拠点病院等の緩和ケアチーム新規診療症例数	157,180 （R3.1.1～R3.12.31）	1,270 （R3.1.1～R3.12.31）	165,667 （R5.1.1～R5.12.31）	1,390 （R5.1.1～R5.12.31）	現況報告書	
52	（再掲）緩和ケア診療加算の算定回数	算定回数　664,638 患者数　57,076 （令和2年度）	算定回数　1,187 患者数　256 （令和2年度）	算定回数　701,835 患者数　63,026 （令和4年度）	算定回数　1,373 患者数　296 （令和4年度）	NDB	
53	医療者はつらい症状に速やかに対応していたと感じる割合	成人：75.0% 遺族：82.4% （成人：平成30年度、遺族：令和元～２年度）	成人：70.0% 遺族：81.4% （成人：平成30年度、遺族：令和元～２年度）	成人：90.2% 遺族：79.3% （成人：令和５年度、遺族：令和５年度）	成人：91.1% 遺族：－ （成人：令和５年度）	患者体験調査・遺族調査	
54	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3% （平成30年度）	80.3% （平成30年度）	60.6% （令和5年度）	57.6% （令和5年度）	患者体験調査	
55	日本がん・生殖医療登録システムJOFRへの登録症例数	285件 （令和4年度）	－	1,453件 （令和6年度）	－	日本・がん生殖医療学会からのデータ提供	
56	治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	成人：52.0% 小児：53.8% （成人：平成30年度、小児：令和元年度）	－	成人：71.5% 小児：　－ （成人：令和５年度）	成人：42.6% 小児：　－ （成人：令和５年度）	患者体験調査、小児患者体験調査	
57	希少がんホットラインへの問い合わせ数	3,521件 （令和４年度）	－	3,991件 （令和6年度）	－	国立がん研究センターからのデータ提供	
58	中央病理コンサルテーションの数	800件 （令和4年度）	－	1,583件 （令和6年度）	－	国立がん研究センターからのデータ提供	
59	難治性がん診療を積極的に受け入れている拠点病院等の数と他施設へ紹介する拠点病院の数	積極的に受け入れ：359 他施設へ紹介：46 （R3.1.1～R3.12.31）	積極的に受け入れ：5 他施設へ紹介：0 （R3.1.1～R3.12.31）	積極的に受け入れ：395 他施設へ紹介：48 （R5.1.1～R5.12.31）	積極的に受け入れ：5 他施設へ紹介：0 （R5.1.1～R5.12.31）	現況報告書	
60	小児がん拠点病院等で小児がんの薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の数	727 （令和４年９月１日時点）	14 （令和４年９月１日時点）	721 （令和６年９月１日時点）	14 （令和６年９月１日時点）	現況報告書（小児がん）	
61	小児がん拠点病院等における医療環境にある子どもや家族への療養支援に関する専門的な知識及び技能を有する者の数	223 （令和４年９月１日時点）	2 （令和４年９月１日時点）	161 （令和６年９月１日時点）	2 （令和６年９月１日時点）	現況報告書（小児がん）	
62	がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分あると思う小児がん患者の割合	39.7% （平成30年度、令和元年度）	－	－	－	小児患者体験調査	
63	長期フォローアップについて知っていると回答した小児がん患者の割合	52.9% （令和元年度）	－	－	－	小児患者体験調査	
64	多職種からなるAYA支援チームを設置している拠点病院等の割合	23.0% （令和４年９月１日時点）	20.0% （令和４年９月１日時点）	39.7% （令和６年９月１日時点）	20.0% （令和６年９月１日時点）	現況報告書	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
65	（再掲）治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	成人：52.0% 小児：53.8% （成人：平成30年度、 小児：令和元年度）	－	成人：71.5% 小児：　－ （成人：令和５年度）	成人：42.6% 小児：　－ （成人：令和５年度）	患者体験調査、 小児患者体験調査	
66	意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の割合	99.6% （令和４年９月１日時点）	100.0% （令和４年９月１日時点）	100.0% （令和６年９月１日時点）	100.0% （令和６年９月１日時点）	現況報告書	
67	がんに関する臨床研究数	219 （2022年度）	－	244 （2024年度）	－	PMDA	
68	望んだ場所で過ごせたがん患者の割合	47.9% （令和元～２年）	46.0% （令和元～２年）	60.2% （令和５年度）	－	遺族調査	
69	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	4.9% （平成30年度）	4.4% （平成30年度）	1.8% （令和5年度）	0% （令和5年度）	患者体験調査	
70	金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	26.9% （平成30年度）	23.6% （平成30年度）	24.2% （令和5年度）	20.7% （令和5年度）	患者体験調査	
71	がん患者の自殺数	449名 （2016年）	－	401名 （2019年）	－	革新的がん自殺研究推進プログラム	
72	がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数（全国の拠点病院等での総数）	328,392 （R3.1.1～R3.12.31）	4,827 （R3.1.1～R3.12.31）	353,988 （R5.1.1～R5.12.31）	3,704 （R5.1.1～R5.12.31）	現況報告書	
73	がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	成人：66.4% 小児：66.4% （成人：平成30年度、 小児：令和元年度）	成人：58.9% 小児：　－ （成人：平成30年度）	成人：55.1% 小児：　－ （成人：令和5年度）	成人：44.6% 小児：　－ （成人：令和5年度）	患者体験調査、 小児患者体験調査	
74	（再掲）がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	76.3% （平成30年度）	80.3% （平成30年度）	60.6% （令和5年度）	57.6% （令和5年度）	患者体験調査	
75	（再掲）がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	34.9% （平成30年度）	33.7% （平成30年度）	31.7% （令和5年度）	24.1% （令和5年度）	患者体験調査	
76	拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	27,112 （R3.1.1～R3.12.31）	160 （R3.1.1～R3.12.31）	32,885 （R5.1.1～R5.12.31）	254 （R5.1.1～R5.12.31）	現況報告書	
77	両立支援コーディネーター研修修了者数	17,695 （平成27～令和４年度）	192 （平成27～令和４年度）	28,660 （令和６年度まで）	295 （令和６年度まで）	事業報告（労働者健康安全機構）	
78	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	39.5% （平成30年度）	22.3% （平成30年度）	44.0% （令和5年度）	53.3% （令和5年度）	患者体験調査	
79	退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	56.8% （平成30年度）	29.6% （平成30年度）	58.3% （令和5年度）	66.3% （令和5年度）	患者体験調査	
80	治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合	65.0% （平成30年度）	72.0% （平成30年度）	74.5% （令和5年度）	84.4% （令和5年度）	患者体験調査	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
81	アピアランスケア（e-learning）修了者数	e-learning　879 応用編　35 （令和５年度）	e-learning　38 応用編　1 （令和５年度）	e-learning　994 応用編　36 （令和６年度）	e-learning　4 応用編　0 （令和６年度）	国立がん研究センターアピアランス支援センターからのデータ提供	
82	自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の割合	29.8% （令和４年９月１日時点）	40.0% （令和４年９月１日時点）	40.6% （令和６年９月１日時点）	40.0% （令和６年９月１日時点）	現況報告書	
83	特定疾患治療管理料　がん患者指導管理料イ算定数	算定回数　143,280 患者数　141,386 （令和２年度）	算定回数　1,356 患者数　1,351 （令和２年度）	算定回数　157,693 患者数　155,510 （令和４年度）	算定回数　1,104 患者数　1,102 （令和４年度）	NDB	
84	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	32.8% （平成30年度）	29.5% （平成30年度）	47.6% （令和5年度）	43.2% （令和5年度）	患者体験調査	
85	（再掲）精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	24.0% （平成30年度）	–	26.2% （令和５年度）	27.3% （令和５年度）	患者体験調査	
86	小児・AYA世代のがんの長期フォローアップに関する研修会参加人数	250 累計：1,196人 （令和４年度）	8 累計：23人 （令和４年度）	190 累計：1,610人 （令和６年度）	6 累計：34人 （令和６年度）	小児・AYA世代の長期フォローアップ体制整備事業事業報告	
87	（再掲）治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	39.5% （平成30年度）	22.3% （平成30年度）	44.0% （令和5年度）	53.3% （令和5年度）	患者体験調査	
88	介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	算定回数　82,935 患者数　66,661 （令和２年度）	算定回数　1,124 患者数　941 （令和２年度）	算定回数　77,242 患者数　63,612 （令和４年度）	算定回数　1,180 患者数　953 （令和４年度）	NDB	
89	退院時共同指導料1の算定数（がん患者に限定）	算定回数　12,374 患者数　12,053 （令和２年度）	算定回数　150 患者数　145 （令和２年度）	算定回数　13,686 患者数　13,390 （令和４年度）	算定回数　84 患者数　84 （令和４年度）	NDB	
90	（再掲）意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院等の割合	99.6% （令和４年９月１日時点）	100.0% （令和４年９月１日時点）	100.0% （令和６年９月１日時点）	100.0% （令和６年９月１日時点）	現況報告書	
91	CSO（Common Scientific Outline）分類別・部位別論文数、引用数	別途	–	別途	–	論文データベースDimensions	
92	第４期がんプロで支援されたがん専門医療人材の人数	1,820 （令和５年度）	–	2,820 （令和６年度）	–	事業における取組状況調査	
93	外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	11.4% （令和４年度）	5.3% （令和４年度）	12.5% （令和５年度）	7.4% （令和５年度）	がん教育の実施状況調査	

	指標（国計画）	ベースライン値（全国）	ベースライン値（三重県）	現状値（全国）	現状値（三重県）	出典	備考
94	「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	95.1% （令和４年度）	－	95.0% （令和５年度）	－	がん教育総合支援事業 事業成果報告書	
95	利用件数（総数・年あたり）	新規（顕名）　10 更新（顕名）　16 新規（匿名）　38 更新（匿名）　19 （令和４年まで）	－	新規（顕名）　12 更新（顕名）　25 新規（匿名）　45 更新（匿名）　27 （令和６年まで）	－	厚生労働省調べ／国立がん研究センターからのデータ提供	
96	都道府県がん対策推進計画の策定過程におけるがん患者を代表する者の参加割合（参考：性別、年代等の多様性）	13.1% （令和５年）	－	未測定	－	厚生労働省調べ	